

個人投資家の皆様へ

大日精化工業株式会社 会社説明会

東証プライム 証券コード 4116（よい色）

2024年1月18日

専務執行役員 最高財務責任者
駒田 達彦



Dainichiseika

彩りの、その先へ。
今日の未知は、未来への道

- 1 「実は、あなたも大日精化のユーザー」
- 2 「色彩と機能で、価値創造に取り組む会社」
- 3 「自動車やディスプレイ用材料では、トップクラス」
- 4 「環境に配慮した生産・製品」

会社名

大日精化工業株式会社 Dainichiseika Color & Chemicals Mfg. Co., Ltd.

企業理念

「人に興味を持とう」 「新しいことに興味を持とう」 「未来に興味を持とう」

ブランド・メッセージ

彩りの、その先へ
今日の未知は、未来への道

本年、創業92周年の記念日を機に、大日精化グループのブランドメッセージを一新しました。
全社員参加による公募と選定により、自社グループの行く先を「自分ごと」として考えるプロセスの中から生まれました。

本社所在地

東京都中央区日本橋馬喰町一丁目7番6号

代表者

代表取締役社長 高橋 弘二（たかはし こうじ）

創業

1931年10月16日

従業員数

グループ総計 3,666人（内単体 1,451人）

資本金

100億39百万円（東京証券取引所 プライム市場）証券コード：4116（よい色）

「日本の色彩で世界を彩りたい…」創業の志から始まるストーリー

技術

有機無機合成・顔料処理技術



分散加工技術

樹脂合成技術（ウレタン樹脂・アクリル樹脂）

参入市場

●顔料の量産を開始

●ペースト状塩ビ用着色剤（ビニルトナー）

日本初

●ビニロン・レイヨン繊維用原液着色剤

日本初

●ポリオレフィン用ドライカラー・マスターバッチ

●コンピュータカラーマッチング

日本初

●IJ分散体

●CF用顔料

●ウレタン樹脂事業参入

●シリコーン・ウレタン樹脂

●紫外線硬化型コーティング材

●食品包装用グラビアインキ

1931年 創業



創業者 高橋 義博

- 顔料の多くを輸入に頼っていたことを憂い顔料の国産化を目指して創業
- 商人出身のため、需要家側に立って顧客が何を望んでいるかを先に考えた
- 目標は高能率、高収益、高分配の企業にしてゆくこと、研究開発への投資は惜しまない

売上高
(億円)

1,500

1,000

500

0

1980年度

2000年度

2020年度



売上高	
連結	1,220億円
内、海外法人計	332億円 (27%)

	海外拠点		国内拠点
製造	Color & Functional	10拠点	14拠点
	Polymer & Coating	3拠点	
	Graphic & Printing	3拠点	
営業	4拠点		13拠点
研究開発			6拠点

色って何？

色は、光、物体、目があるから見えます。

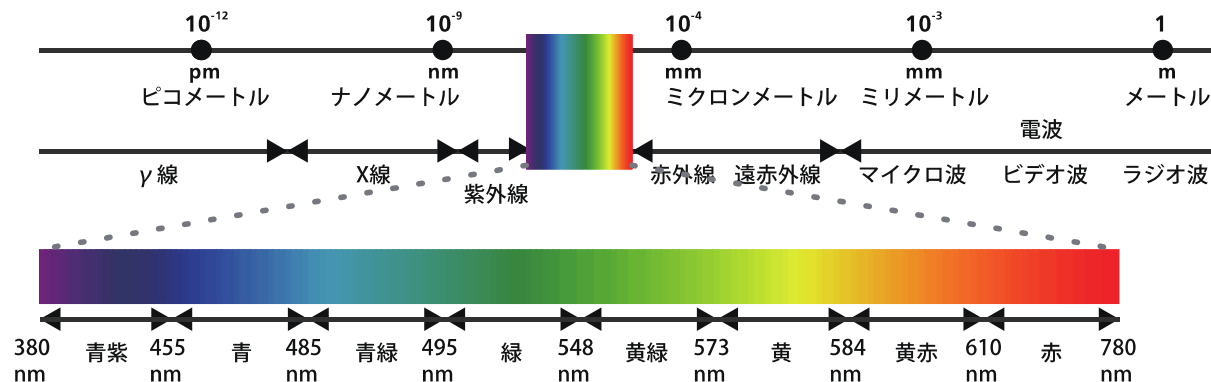
なぜ、いろんな色があるの？

物体が特定の光（可視光線）を吸収した残りの光が色です。

全部の光を吸収すると黒、全て反射すると白になります。

特定の光を吸収させるために、色の粉＝顔料が使われます。

●電磁波の波長と可視光線

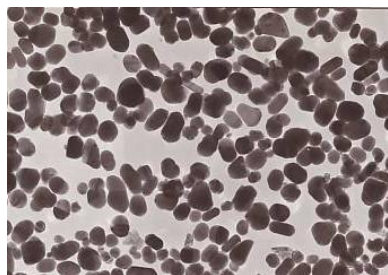


「顔料」って何？ 色を顔料でどうやって彩るの？

顔料の粒子を均一に細かく混ぜます。

顔料は非常に小さい粒子です。

1/1000mm



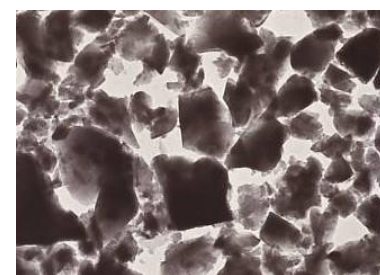
酸化チタンPW.6



カーボン P.Bk 7



キナクリドンマゼンタ PR 122



群青 P.BI 29

分散加工技術

小さい粒子を均一に色を付けたい物質、プラスチックや塗料などに混ぜるのは大変です。

例えば、小麦粉を均一に混ぜるのは大変ですよ？

これを分散加工技術と呼んでいます。

「顔料」って何？ 色を顔料でどうやって着色するの？



Dainichiseika

顔料の粒子がきちんと分散していても、いろんな素材と混ざらないといけません。

顔料の粒子をきちんと分散させた着色剤は、
更に、白や透明なプラスチックや塗料に均一に混ぜる必要があります。

●電線の被覆部分を観察したもの



成功した例◎

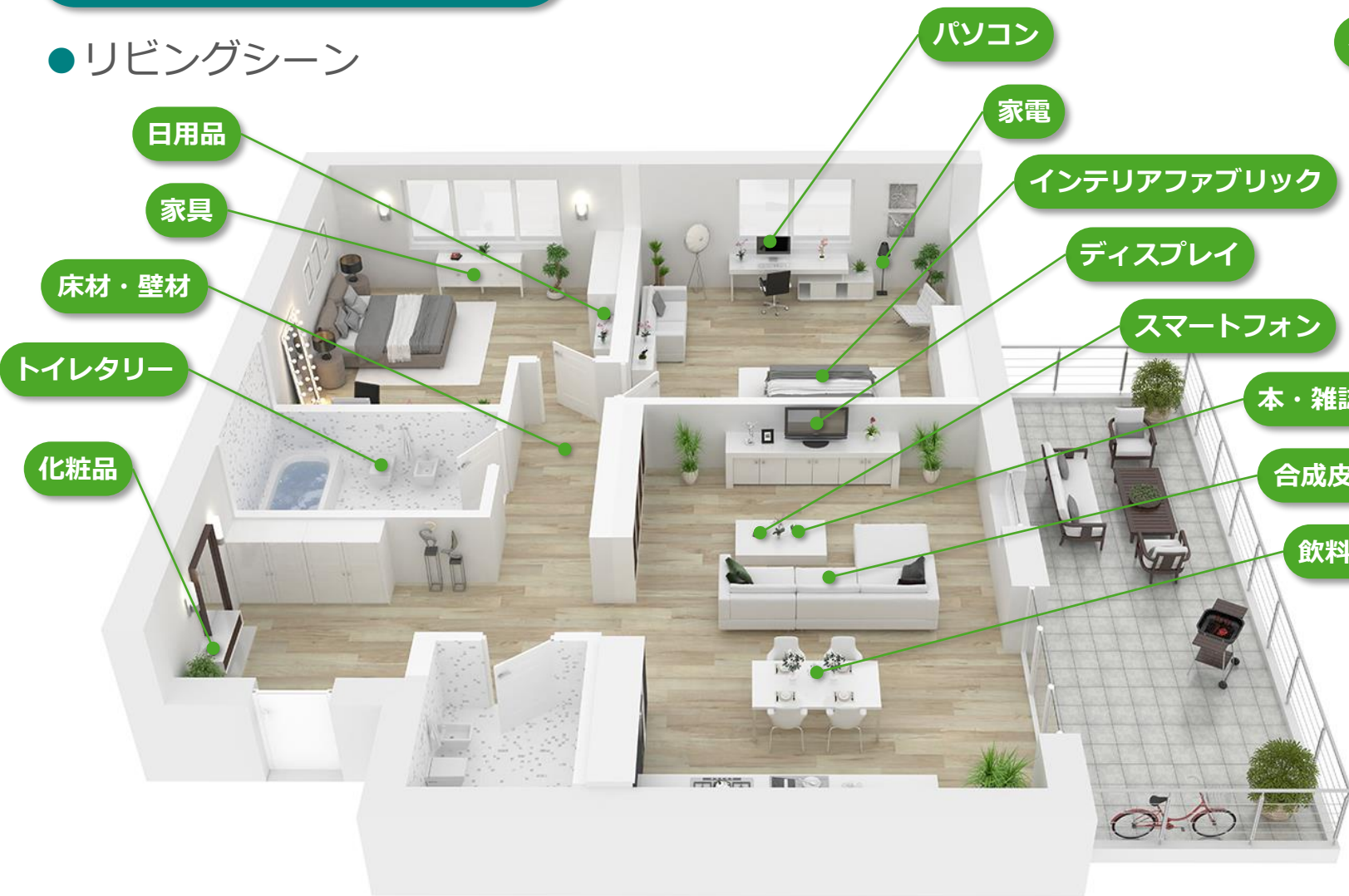


解膠（分配）不良 = 色ムラ

あなたも大日精化ユーザー ～身の周りにある大日精化（1/2）

Dainichiseika with Life

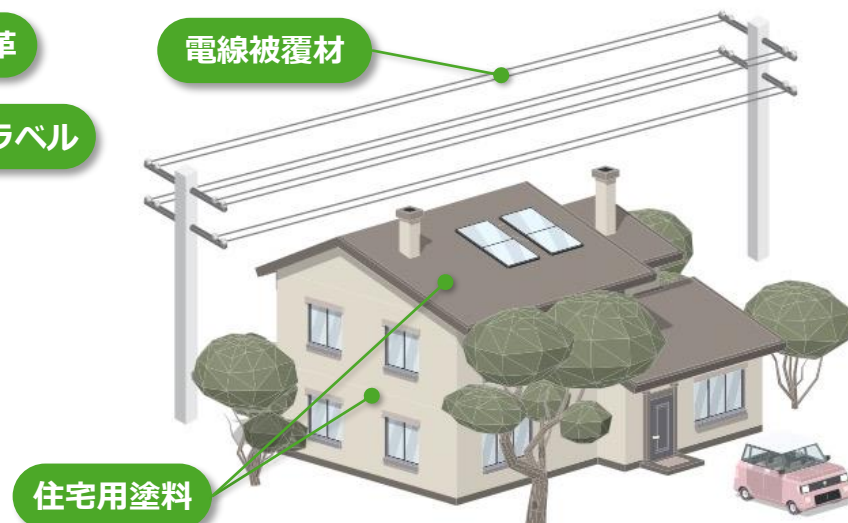
●リビングシーン



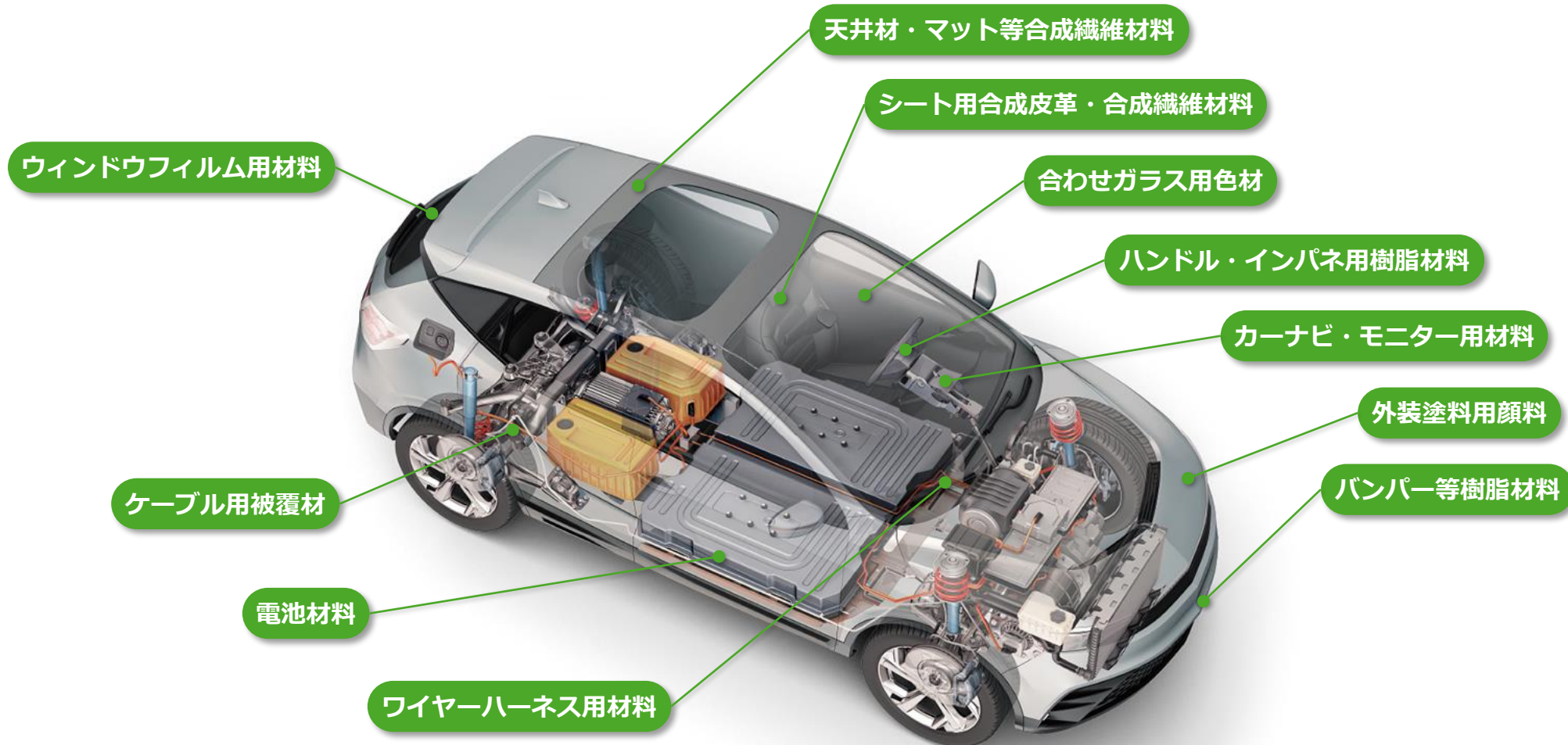
●オフィスシーン



●アーバンシーン



Dainichiseika with MOBILITY



主要製品群とポジション



Dainichiseika

成長事業

基盤事業

顔料・着色剤

高シェア

海外展開



環境対応品

海外展開



インクジェット
電子材料



インフラ用電線・ケーブル
住宅内装、塗料

コーティング剤・樹脂

高シェア

海外展開



自動車（内装、外装、電装）



ディスプレイ

高シェア

海外展開



ニッチ製品

インキ

環境対応品

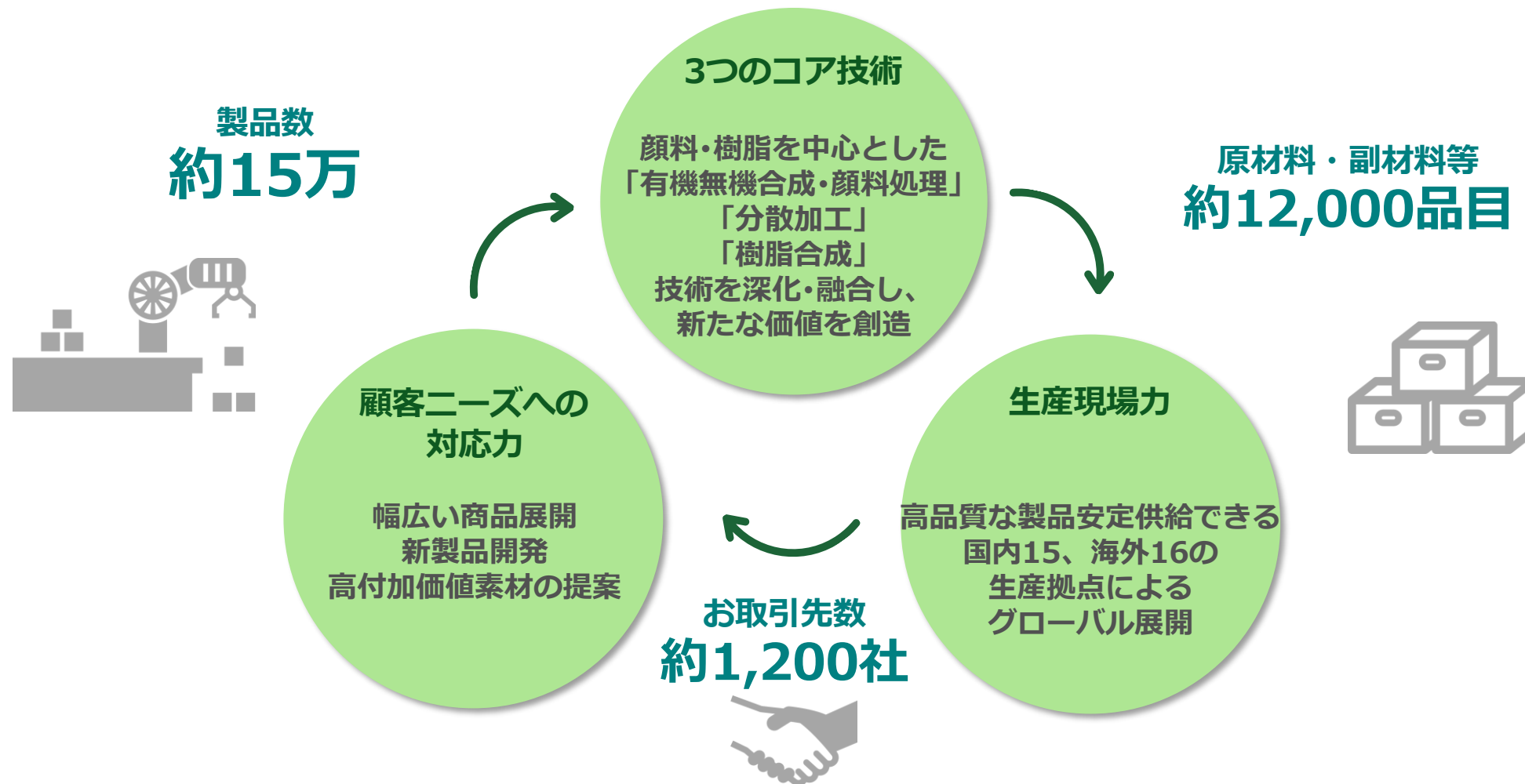


飲料ラベル

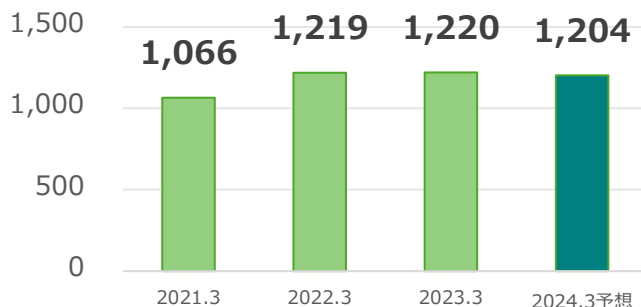


食品包装

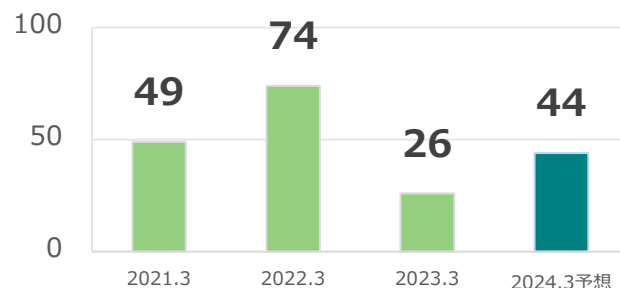
顔料を祖業に、創業以来90年にわたり磨いた技術で、
社会や環境のニーズに即した付加価値の高い素材を生み出す会社



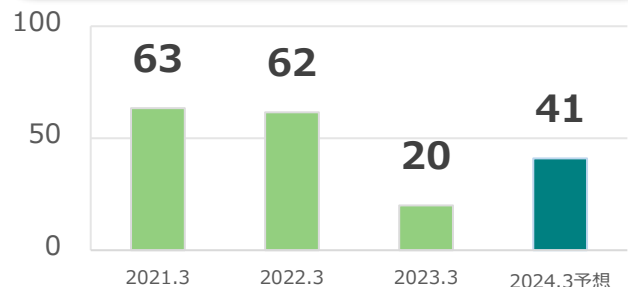
売上高・通期（単位：億円）



営業利益・通期（単位：億円）



当期利益（単位：億円）



売上高は数量増により回復へ

- 自動車向けのコンパウンド・着色剤は下期以降順調に推移
- 液晶向けディスプレイ向け顔料及びコーティング剤は春先からの回復が下期以降やや弱含む
- 販売価格の見直しは継続も、概ね計画を達成

利益回復へ

- 見込みは販売数量拡大により、下期は上期に比較して増益
- 原材料価格及びユーティリティ費用の注視必要も、経費をコントロールし削減
- 政策保有株式の削減は引き続き注力

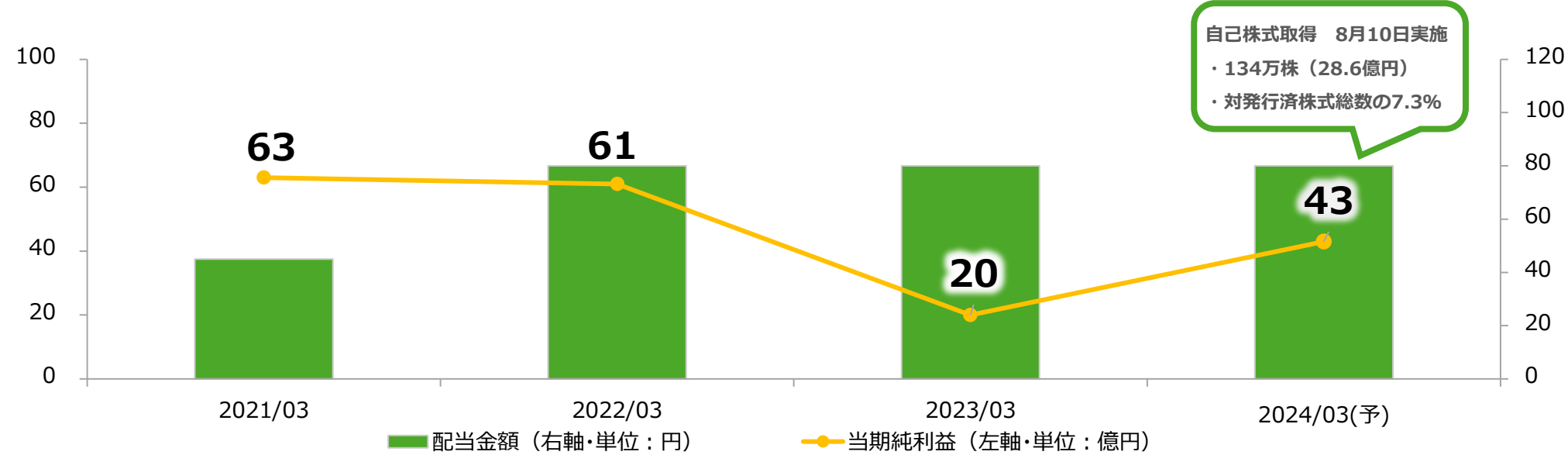
連結貸借対照表

単位：億円・切捨	2023年3月期	2024年3月期 2Q	前年度末比 増減		2023年3月期	2024年3月期 2Q	前年度末比 増減
流動資産	1,102	1,122	+20	流動負債	535	587	+51
固定資産	825	828	+2	固定負債	249	203	△46
有形	497	503	+5	負債	784	790	+5
無形	13	12	△1	（有利子負債）	(309)	(299)	(△10)
投資	313	312	△1	純資産	1,143	1,160	+17
資産	1,927	1,951	+23	負債・純資産	1,927	1,951	+23

	2023年3月期	2024年3月期 2Q	増減
DEレシオ	0.28	0.26	△0.02
自己資本比率	58.1%	58.3%	+0.2
BPS	6,060.11	6,627.75	+567.64
PBR	0.29	0.34	+0.05

【配当方針】

- 業績に連動した安定的、継続的な株主還元を着実に実施
- 財務体質の健全性を維持しながら、成長に向けての投資及び環境投資へ優先的に配分
- 配当性向は2～3割程度を計画



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予)
1株当たり配当 (円)	45.0	80.0	80.0	80.0
配当性向	13.2%	24.0%	73.7%	33.5%

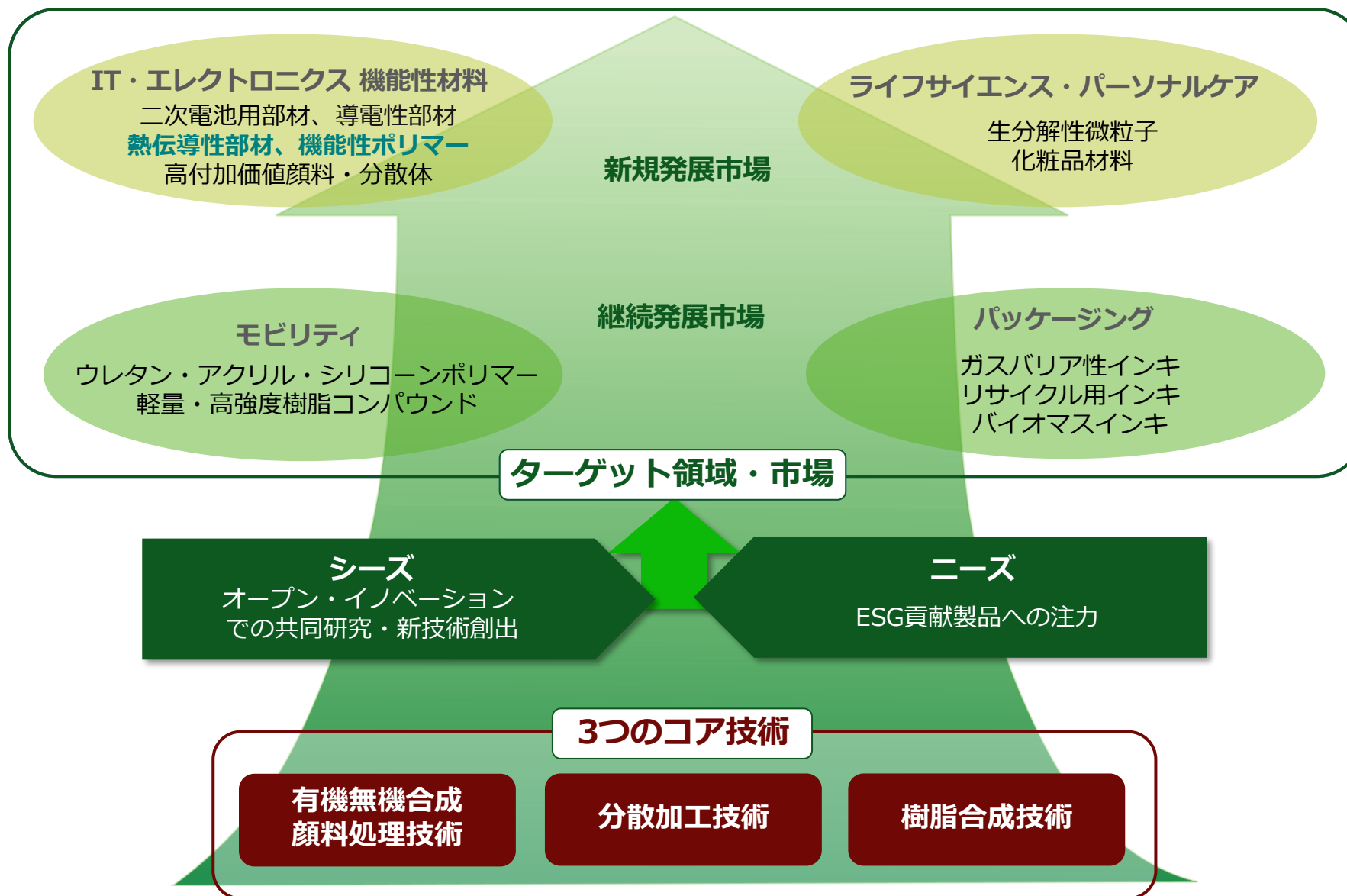
「10年後のありたい姿」

ミッション

- ✓ 技術力を生かしニッチマーケットで社会に貢献し続ける
- ✓ サステナブル社会の実現に向けた課題解決と新たな価値創造に取り組む

基本戦略

- ✓ 資本効率を重視した経営（ROE 9%以上、ROA 5%以上）
- ✓ 技術主導による競争優位性の確保
- ✓ サステナブル社会の実現に向けたESG重視の経営推進
- ✓ 事業基盤の強化のための海外事業の拡大（海外売上高向上）





市場投入段階

一部上市

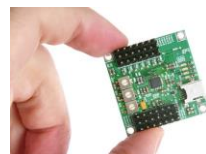
エレクトロニクス

機能性ポリマー 耐熱高分子

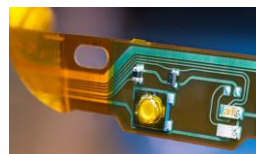
高耐熱ポリウレタン接着剤

エレクトロニクス機器の小型化やデザイン性向上に貢献

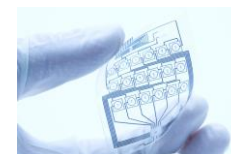
背景 電子機器の高機能化・小型化が進行、電子基板も硬質から軟質へ



硬質基板（通称：リジット）



硬質軟質基板（通称：リジットフレキ）



軟質基板（通称：フレキ）

従来品



割れが発生



当社開発品



折り曲げ可能

効果 電子基板が柔軟化することで魅力のある電子機器の設計が可能



折り畳みスマホ



VRゴーグル



収納型ディスプレイ



ウェアラブル機器

持続可能な成長に向けて、特に注力するマテリアリティ

	マテリアリティ	対応するSDGs
E 環境性	製品開発力、新規事業推進（環境配慮型製品）	2 持続可能なエネルギー 3 すべての人に健康と福祉を 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを増そう
	気候変動対策（地球温暖化防止）	
	サーキュラーエコノミー推進（資源循環型経済）	
	生物多様性の保全	
S 社会性	労働安全衛生向上	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国が不平等なくいっしょに 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任
	化学物質安全管理	
	ダイバーシティ & インクルージョン	
	人的資本投資・人財育成	
G 企業統治	コンプライアンスの徹底	16 平和と公正をすべての人に
	情報セキュリティ対策の強化	

製品開発力、新規事業推進

KPI	目標時期	目標値	2023.3実績
ESG貢献製品 売上高 (当社独自の基準)	2024.3	2021.3比 20%向上	同左 19%向上

- 計画通りの拡販に加え、ESG貢献製品の追加登録

気候変動対策（地球温暖化防止）

KPI	目標時期	目標値	2023.3実績
国内当社グループのエネルギー使用 に伴うCO ₂ 排出量	2024.3	2014.3比 70%削減	同左 77%削減

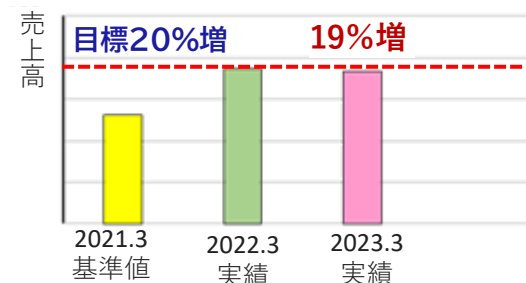
- 国内全製造拠点で、電力の再エネ化が完了
CO₂排出量の削減 計画通り 進捗度9割

サーキュラーエコノミー推進（資源循環型経済）

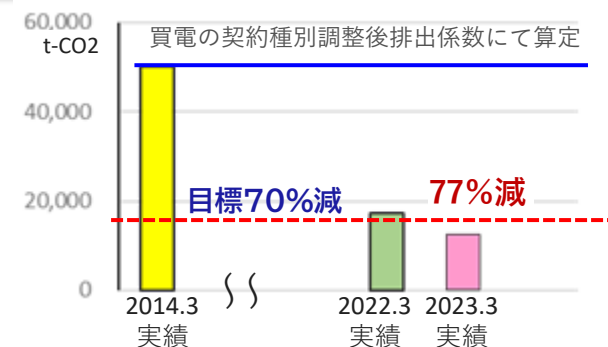
KPI	目標時期	目標値	2023.3実績
国内製造拠点から排出される 廃プラスチックリサイクル率	2024.3	2021.3比 3ポイント向上	同左 3.2ポイント向上

- 廃棄物の分別を推進、廃プラスチック リサイクル率 向上

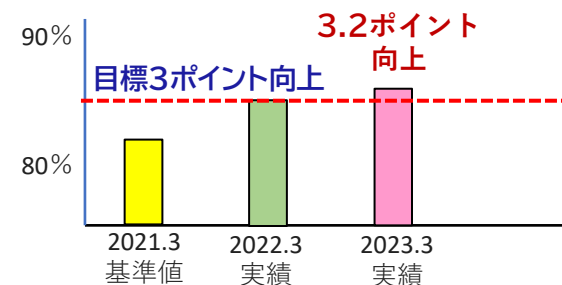
ESG貢献製品売上高

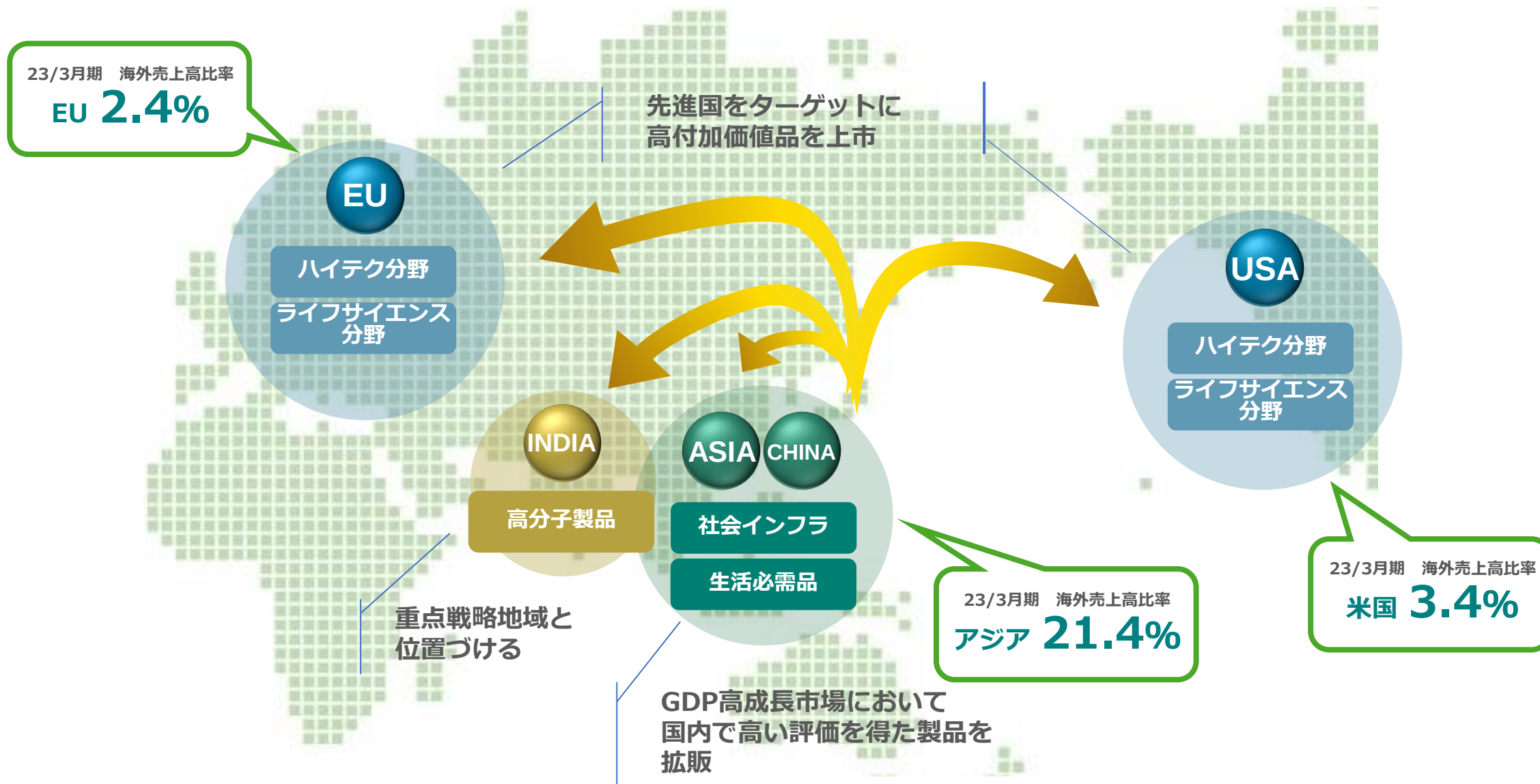


国内当社グループのCO₂排出量（国内Scope1+Scope 2）

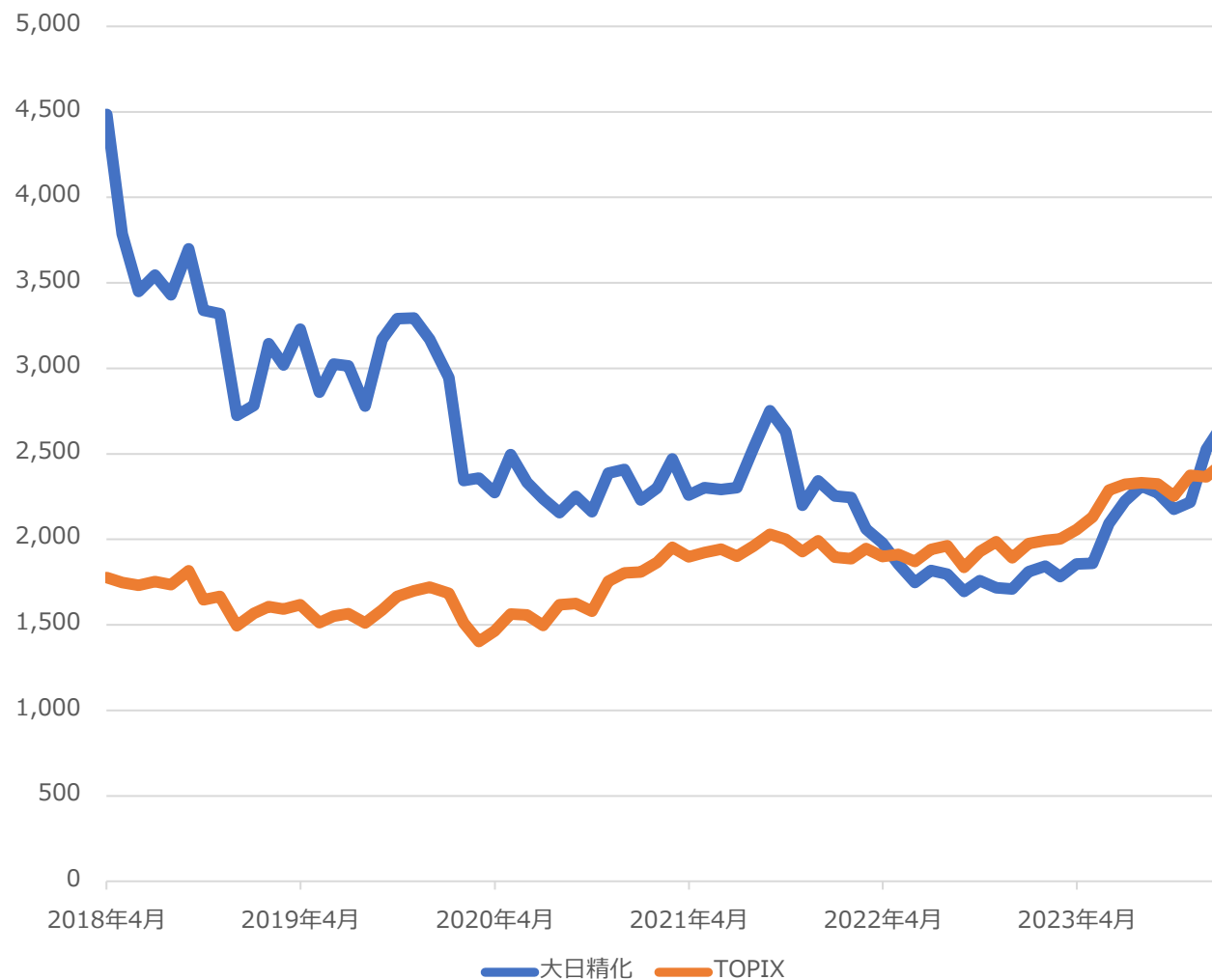


国内製造拠点における廃プラスチックのリサイクル率





株価推移（月次ベース）



株価 2,673円

配当利回り 3.0%

（2024年1月15日現在）

- ☑ 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。
- ☑ 本資料に掲載されている情報に関して、当社は最新の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。

【IRに関するお問い合わせ先】

大日精化工業株式会社 広報本部

TEL : 03-3662-1638

Web : <https://www.daicolor.co.jp/>

Mail : d-mailto@daicolor.co.jp